

図書館だより

栃木市立栃木西中学校 令和2年7月号 文月

夏だからこそ、読んで涼しくなりませんか？

皆さんは、“江戸川乱歩”という作家を知っていますか？有名な作品では“怪人二十面相”や“少年探偵団”などがあります。この作品は名探偵 明智小五郎と助手の小林少年が名推理とともに怪奇事件を次々と解決していく推理小説です。私が中学生のときこの作品シリーズが学校図書室にあり、夢中で読んだことを思い出します。江戸川乱歩の作品の本の表紙は少し不気味な絵が描かれています。作品内容も表紙の絵から連想できるような不気味で怖いものになっていますが、とても読みやすい本なので、皆さんも、暑い夏にこそ不気味で怖い本を読んでみてはいかがでしょうか？



江戸川乱歩の作品は西中図書室にもあります。

《怖い、こんなお話の本を読んでみませんか？》



『3分後にゾットとする話』 47都道府県の怖い話

並木 伸一郎 著/マニアニ 絵

日本全国47都道府県の怖い話。都市伝説から本当にあった話まで一話読みきりのホラー短編小説。



『怪談5分間の恐怖』 中村 まさみ 著

何度もおしよせる不思議な世界・・・実話の怪談短編。読んでみて、背中をゾクッとしてください。



『レイワ怪談』 ありがとう・あみ 著

廃墟に現れる老人の霊、スマホ動画にとりつく霊など・・・この世は霊にあふれている。新時代（令和）の心霊ストーリー。

《七夕（たなばた）》

7月7日は七夕です。七夕は五節句のひとつで、縁起の良い「陽数」とされる奇数が連なる7月7日の夕べに行われるため「七夕の節句」といいます。また、笹を用いて行事をすることから、別名「笹の節句」と呼ばれます。

七夕のルーツは、中国伝来の七夕伝説（星伝説）にあります。幾つかの説がありますが、一般的な伝説を紹介すると・・・

『天の川の西岸に住む機織りの名手・織姫と、東岸に住む働き者の牛使い・彦星が、織姫の父である天帝のすすめめで結婚したところ、仲睦まじくするばかりで二人とも全く仕事をしなくなってしまいました。これに怒った天帝が、天の川を隔ててふたりを離れ離れにしましたが、今度は悲しみに明け暮れるばかりで働かなくなってしまいました。そこで、仕事に励むことを条件に七夕の夜に限って再会することが許され、七夕になると天帝の命を受けたカササギの翼にのって天の川を渡り、年に一度、再会をするようになった』というお話です。



夏の空を見上げ、天の川をみると、天の川に輝く「夏の大三角形」が七夕伝説を表しています。「夏の大三角形」を形成している琴座のベガが織姫、鷲座のアルタイルが彦星、白鳥座のデネブが二人をとりもつかササギです

《星空を眺めてみませんか？》

夏は星を見る機会も増えると思います。勉強に疲れ、ゲームに疲れ・・・ちょっと目を休めたいと思ったら、空を見上げ、星を見るのはいかがでしょうか。図書室には星に関する本もたくさんありますので、2学期になったら、図書室にきて、星の本を見て、星空とみくらべてみてください。

- ・星空を見上げて365日 藤井 旭 著
- ・夜空と星の物語 日本星景写真協会
- ・四季の星座図鑑 藤井 旭 著

